

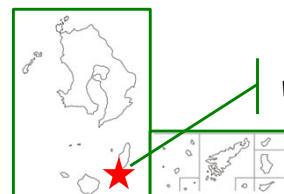
南種子町有機農業推進協議会（鹿児島県熊毛郡南種子町）

R3補正
R4当初

55

背景・課題

南種子町は、土地利用型作物の栽培が盛んであるが、担い手の不足及び高齢化が加速しており、遊休農地の増加や農家戸数の減少が危惧される。また、肥料や農薬等の資材の大部分を島外からの移入に依存しており、化石燃料価格の高騰が生産コストに大きく影響している。農業や地域の将来も見据え、持続可能な食料システムの構築に資する取組として有機農業を推進する。



南種子町

構 成 員

南種子町、農業委員会、教育委員会、JA種子屋久、有機農業者 等

品 目

いも類、露地野菜

成果目標と達成状況

※最終的な達成状況は
令和10年度に評価

○有機農業（いも類・露地野菜）の取組面積拡大	8.47ha(R3)	→ 10.7ha(R4)	→ 11.5ha(R9)
○有機農産物の販売量の増加	43t(R3)	→ 49.57t(R4)	→ 85.35t(R9)
○有機農業者の増加	9人(R3)	→ 8人(R4)	→ 16人(R9)

取組の成果

- ①調 達：土壌診断結果（南種子町土壌診断室分析）に基づいた施肥の実施（南種子町単独事業の取組）
- ②生 産：遊休農地の復旧による有機栽培圃場の確保、リモコン草刈り機の実証、町内の水稻農家等を対象とした有機米セミナーの開催、有機米の試験栽培
- ③加工・流通：有機農業に取り組む農家と流通販売事業者との意見交換会の開催、有機農業体験圃場で栽培された野菜の町内観光物産館での販売
- ④消 費：有機農業体験イベントの開催、町内小中学校の学校給食に有機野菜を使用した有機給食イベントの開催、オーガニック映画上映会の開催



リモコン草刈り機の実証



町内観光物産館での販売



有機農業体験イベントの様子

普及に向けた取組

本町の農業は、気象条件や病虫害の影響を非常に受けやすいため、必要な生産技術の確立を目指すとともに、環境負荷軽減、生産コスト低減及び地力維持を図るために、地域資源（牛ふん等）を原料とした堆肥の利用を推進。

また、有機農業を目指す新規就農者及び慣行農法からの転換を希望する者に対しては、有機農業先駆者並びに関係機関と協力し、就農相談や情報提供等を実施。販路については、町内の観光物産館、飲食店、学校給食、病院、福祉施設等との連携や、加工品の開発を進め、町内外の消費者が容易に有機農産物を入手できる環境づくりを推進。

問い合わせ先

南種子町有機農業推進協議会（事務局：南種子町役場総合農政課）
TEL：0997-26-1111（代）